



**地本
第41回
定期大会**

**成田支部
からも
参加！！**

2026年7月15日、千葉市民会館小ホールにて、千葉地本「第41回定期大会」が開催され、成田支部からも3名の代議員が発言し、地本の運動方針に肉付けをしました。

▼発言した内容

●支社ビル(現 千葉事業本部ビル)では、今回から各設備の部署も同一事業区分となった。より広いエリアで安全衛生委員などが一まとめで行われるようになる。過半数代表者選挙でWeb(Forms)投票では「誰が誰に投票したか分かってしまうと会社を信用できない指令員から不安の声」が多くあるため、紙投票にすべきだ。指令室では要員不足が深刻で、疲労感が増すばかり。10年後、私たちがセンターとなることを意識していく。

●情宣活動はただ情報誌を作るだけでなく、相手に分かりやすく・正しく伝える重要な手段で、場合により会社への抑止力にも成り得る。確認すべき事はする・守ることは守る点を意識していく。幕張車両センター構内で発生した入換信号機冒進の事象では、本人に寄り添える分会運動を創っていく事が大切だと実感した。

●大宮地本で発生した不当労働行為の裁判は、本人だけでなく自分事として捉える。もし負けてしまうと不当労働行為を認めることになる。夏季一時金を要求した根拠は、新賃金では殆どの主任職以下は下がると想定される。2027年以降、人件費は5000億円以下に抑えるとされているが、これではどんなに業績が良くても私たちの賃金は上がりモチベーションは低下する。経営姿勢を変えていかないといけない。

**東労組に結集し
安全第一の職場風土を創り出そう！**